

経済指標ウォッチャー

米国雇用統計 雇用者数は増加したものの事前予想を下回る

雇用環境は好転するものとみられるが予断を許さない状況

米国雇用統計とは？

米国の雇用情勢を調査した統計で、米国労働省が公表。米国雇用統計は速報性が高く、原則として毎月第1金曜日に公表される。

米国の金融政策を見通すうえで、雇用関連指標の代表である雇用統計の重要度は高く、投資家の関心が集まる経済指標。

非農業部門雇用者数は市場予想を下回る

2月5日に米国労働省が公表した2021年1月の雇用統計は、失業率が6.3%と前月から0.4%改善、非農業部門雇用者数が前月比4.9万人増となりました。失業率は改善したものの、非農業部門雇用者数は事前予想（同10.5万人増）を下回りました。2020年12月の非農業部門雇用者数も速報値の同14万人減から同22.7万人減に下方修正されており、飲食店の営業制限等によりサービス業を中心に厳しい雇用環境が続いているものと思われます(図表1)。

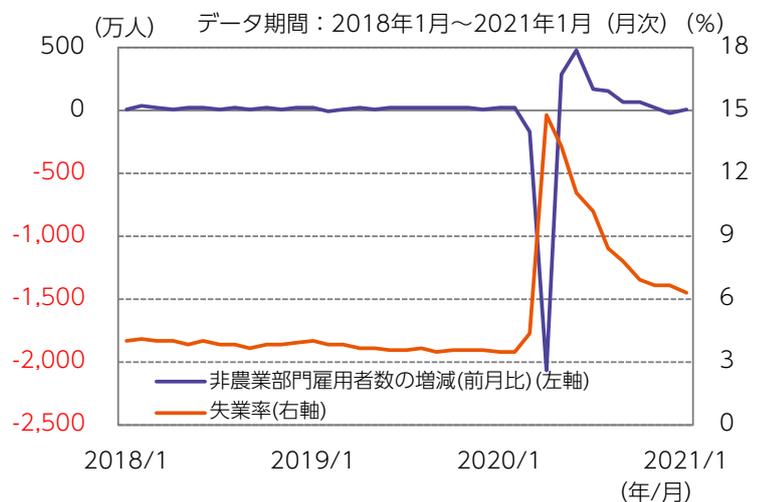
雇用環境好転が見込まれるものの楽観視は禁物

2月初旬に公表されたISM(全米供給管理協会)景況感指数の結果から、雇用環境は改善傾向にあるとの声もありました。ISMの調査対象の中心である大企業では雇用の改善が進みつつあるものの、中小・零細企業が多い飲食店等では雇用の回復が進んでいないものと考えられます。2021年1月の非農業部門雇用者数は新型コロナウイルス感染拡大前の2020年2月と比較して、約990万人減少しています(図表2)。非農業部門雇用者数は未だコロナ前の水準まで回復しておらず、失業者にとって厳しい環境が続いていると言えます。

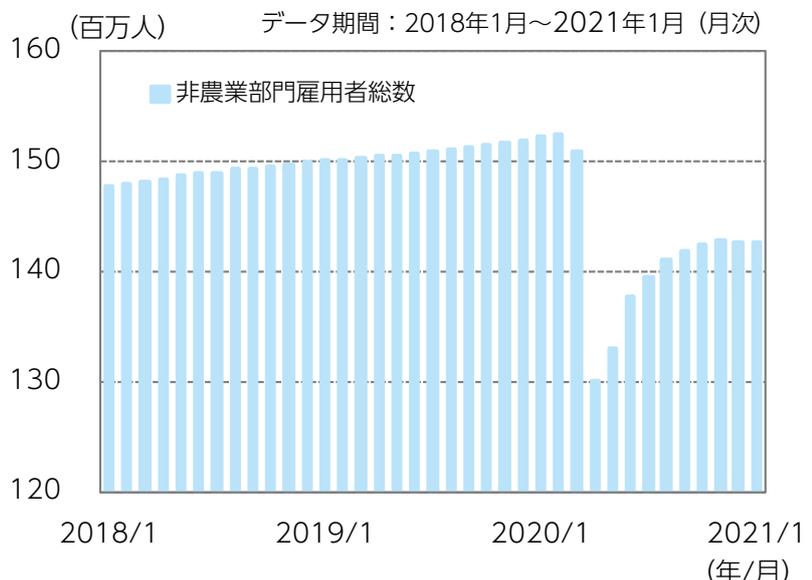
イエレン米財務長官は、追加経済対策の実行で、雇用環境が改善し来年には完全雇用に達するとの認識を示しており、1月雇用統計の結果を受け、一段の景気刺激策が必要との見方が強まると思われます。

ワクチンの早期普及による景気回復期待はあるものの、感染拡大の影響で飲食店の営業制限などが続いている地域もあり、雇用環境は引き続き楽観視できない状況が続くそうです。

図表1：非農業部門雇用者数の増減と失業率



図表2：非農業部門雇用者数の推移



出所) 図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>